



カーテンボックス

取扱説明書 / 施工要領書

このたびは当社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございました。
ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後も、すぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

もくじ

取扱説明書	1
施工要領書	
施工上の注意	2
施工手順1 取付下地（別途）の設置	3
施工手順2 L寸法のカット	4
施工手順3 ジョイント方法	5
施工手順4 小ロキャップの取付け	6
施工手順5 壁付タイプの取付け	7
施工手順6 梁下・天井付タイプの取付け	8

カーテンボックス


安全上のご注意


使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。

用語および記号、絵表記の説明

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 この記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。


 この記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。

ご利用にあたって


警告

 **製品を分解・改造しないでください。**

使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合があります。

 **付属品を誤って飲込まないようにしてください。**

小さいお子様がいるご家庭では付属品を誤って飲込まないようにしてください。万一、飲込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。

 **カーテンにぶらさがらないでください。**

製品が破損したりケガをするおそれがあります。

 **急激な操作や無理な操作はしないでください。**

破損の原因になります。

注意

 **定期的な清掃をしてください。**


いつまでもキレイな状態を保つために、定期的な清掃が必要です。普段は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい時は、中性洗剤の溶液に浸し、よく絞ってから汚れた部分を軽く拭き取ってください。

 **アルカリ・酸性（弱酸性含む）・塩素系洗剤・シンナー等を使用しないでください。**

お手入れの際、アルカリ性洗剤や酸性洗剤、塩素系洗剤、シンナー等を使用すると、部品が変色したり、劣化することがあります。

 **クレンザー・磨き粉を使用しないでください。**

お手入れの際、クレンザーや磨き粉を粗い粒子を含んだ洗剤や、ナイロンたわし等の傷つけやすいものを使用すると、部品表面にキズがつき光沢を失ったり、変色することがあります。

 **火を近づけないでください。**

本製品にタバコなどの火を近づけないでください。変形、変色の原因になります。

 **強風の時は窓を閉める等、カーテンがあおられない様に注意してください。**

周囲のものや製品が破損する原因になります。

カーテンボックス


安全上のご注意


使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。

用語および記号、絵表記の説明

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 この記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。

 この記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。

施工上の注意

警告

必ず強度のある壁や建築構造体に取り付けてください。

強度の弱い壁や石膏ボードで下地の無い壁などに施工すると、使用中に壁が壊れるなどしてカーテンボックスが外れ、重大な事故につながる場合があります。施工の際は、必ず本書の施工手順に記載した施工例に沿った下地補強を行ってください。

施工業者以外は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

破損の原因になります。使用中に外れたりして使用される方がケガをする恐れがあります。

注意

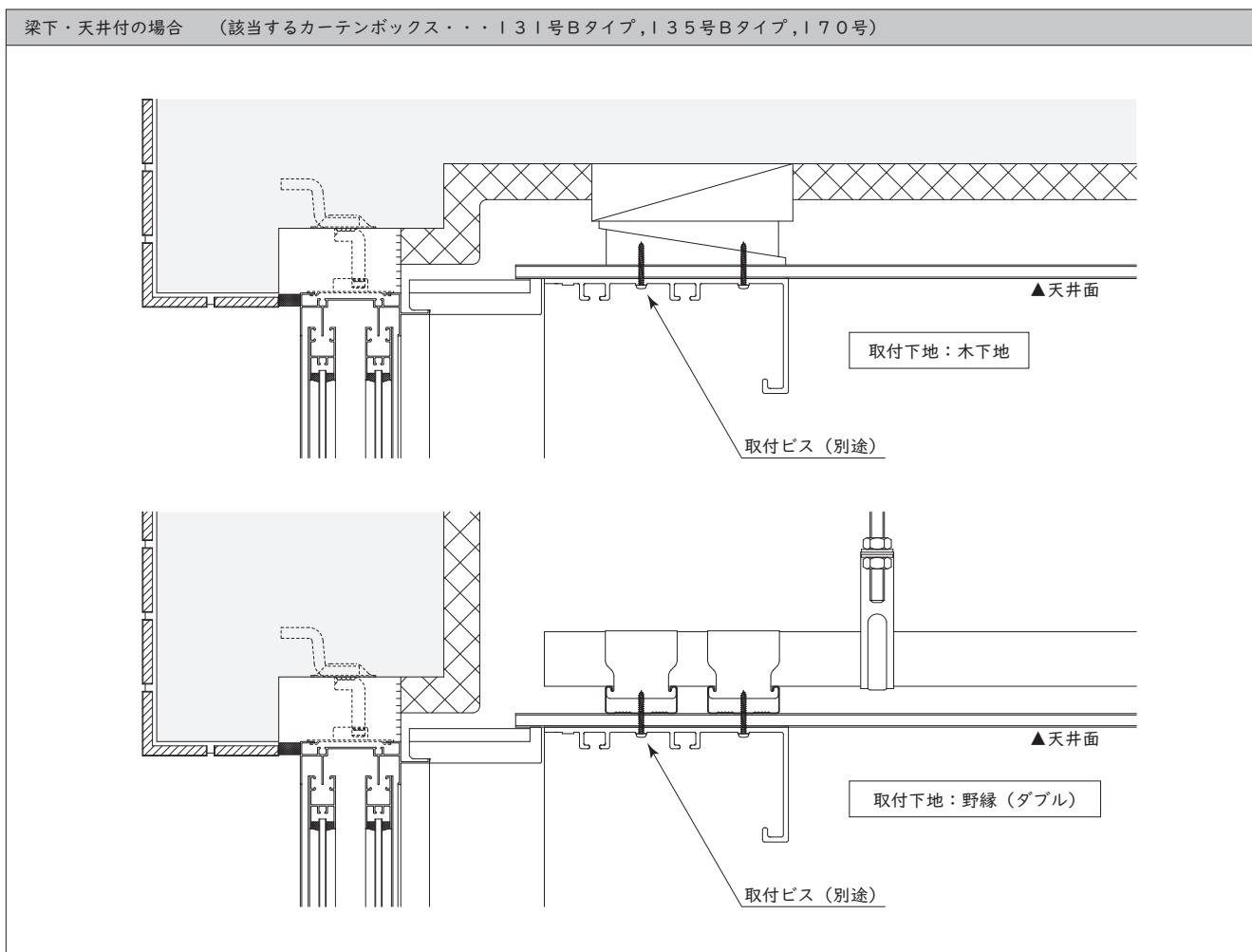
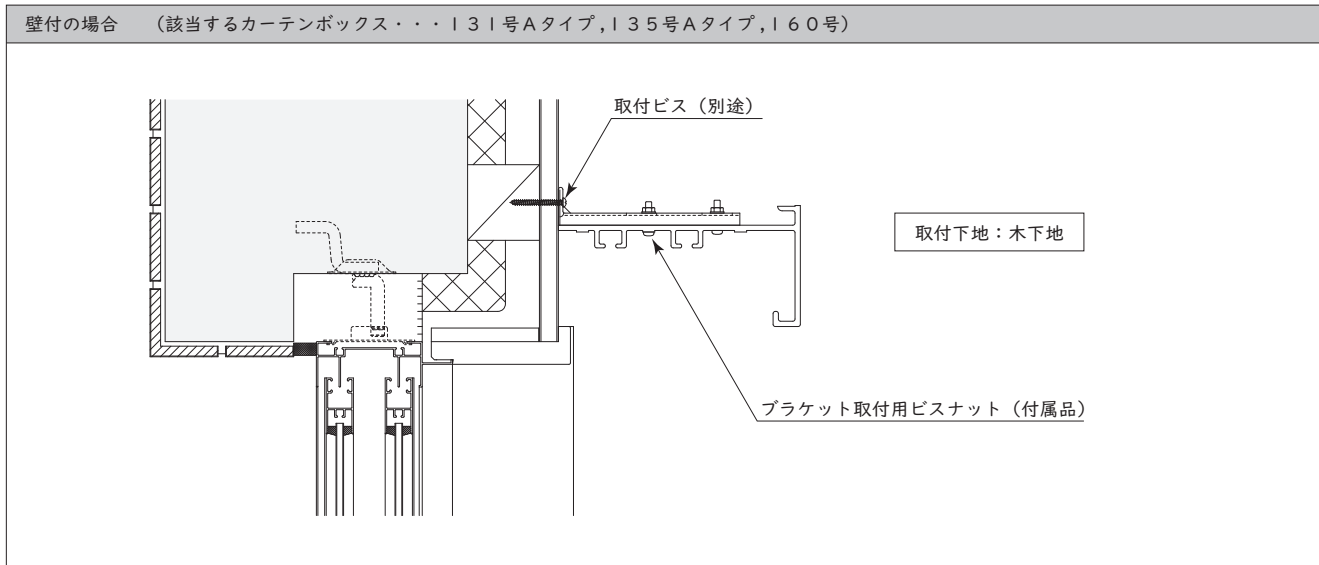
ジョイント部に段差がないことをご確認ください。

ジョイント部は必ず本書の施工手順に記載した施工例に沿って施工し、カーテンボックス内のレールに段差がないことを入念にご確認ください。

施工手順

1. 取付下地（別途）の設置

下図を参考に、取付下地（別途）を必ず設置してください。（取付下地の設置には様々な方法がございますので現場ごとの納まりに準拠してください）
 取付ビス（別途）は、ナベ頭で下地まで十分に届く長さのものをご選択ください。

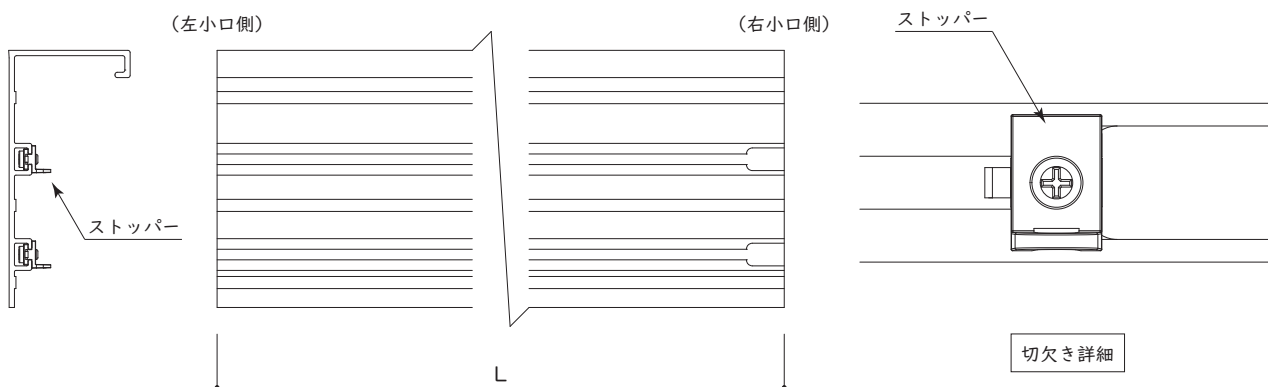


施工手順

2.L寸法のカット

長さ調節が必要な場合は、丸ノコなどでカットしてください。(カットの際には、仕上げ面にバリが出ないように、刃を入れる方向にご注意ください)
 また下図のように、あらかじめレールにランナーを通すための切欠きをつけてありますので、その反対側をカットするようにしてください。
 特にご指定がない場合は、右小口側に切欠きをつけてありますので、左小口側をカットするようにしてください。

ランナーの切欠き



施工手順

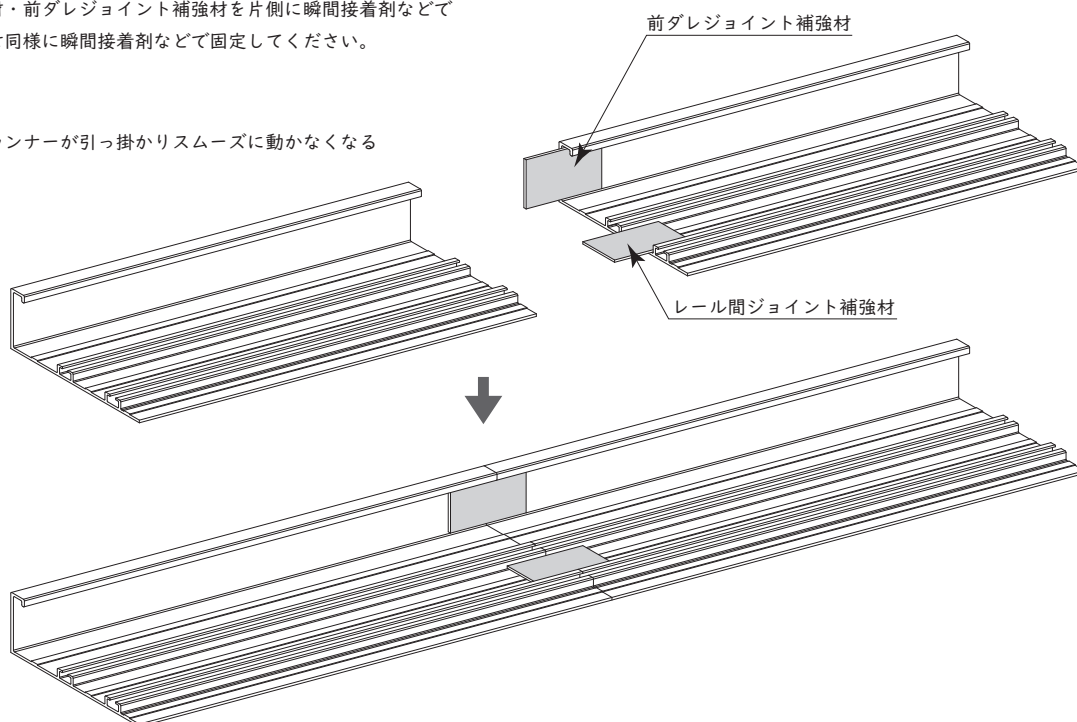
3. ジョイント方法（ジョイントの必要がある場合にお読みください）

● 160号・170号 ジョイント補強材の接着

レール間ジョイント補強材・前ダレジョイント補強材を片側に瞬間接着剤などで固定し、もう一方を合わせ同様に瞬間接着剤などで固定してください。

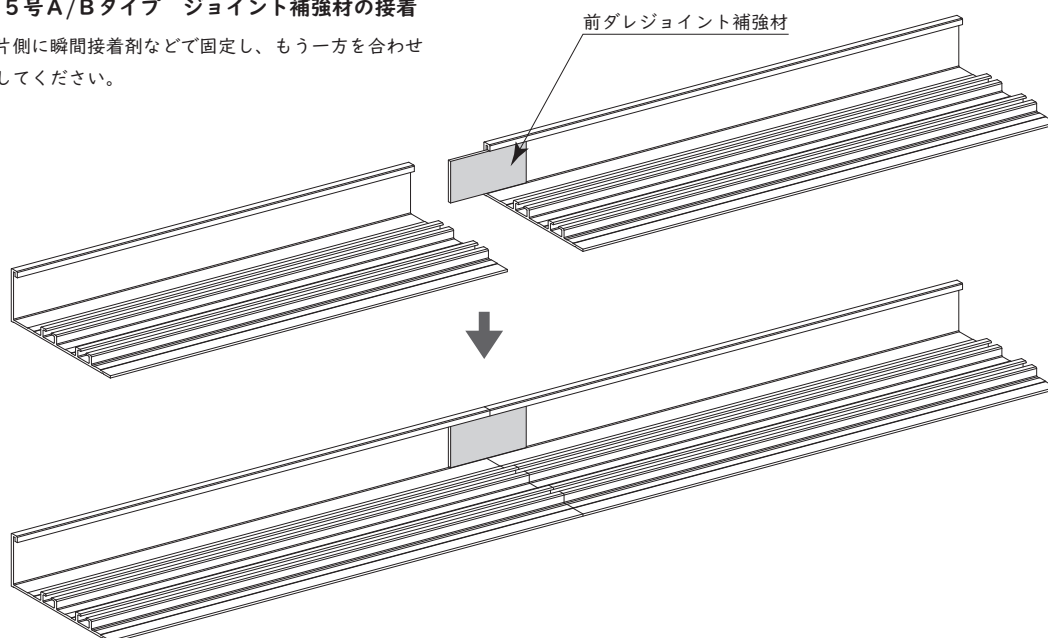
★施工上の注意点

レールの目違いがあるとランナーが引っ掛かりスムーズに動かなくなる恐れがあります。



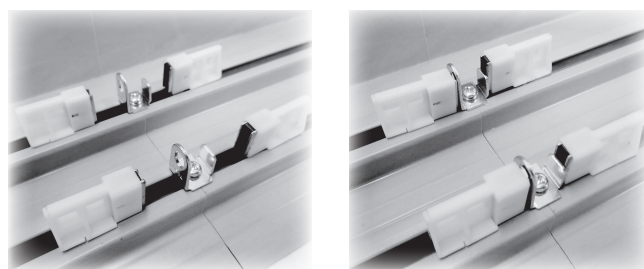
● 131号A/Bタイプ・135号A/Bタイプ ジョイント補強材の接着

前ダレジョイント補強材を、片側に瞬間接着剤などで固定し、もう一方を合わせ同様に瞬間接着剤などで固定してください。



● ジョイントの追加オプション

ジョイント部に写真の金具を固定し、両側に後付けランナーを取付けることでジョイントをまたがないので段差などによるランナーの走行不良を防げます。

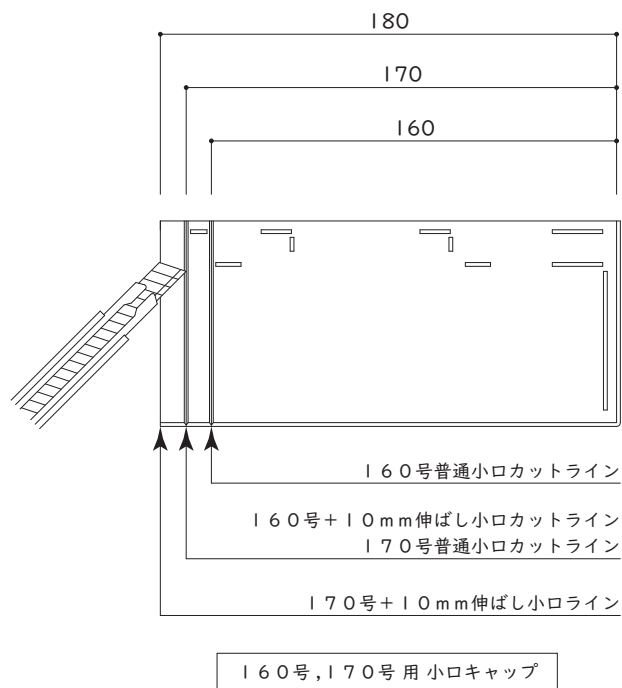
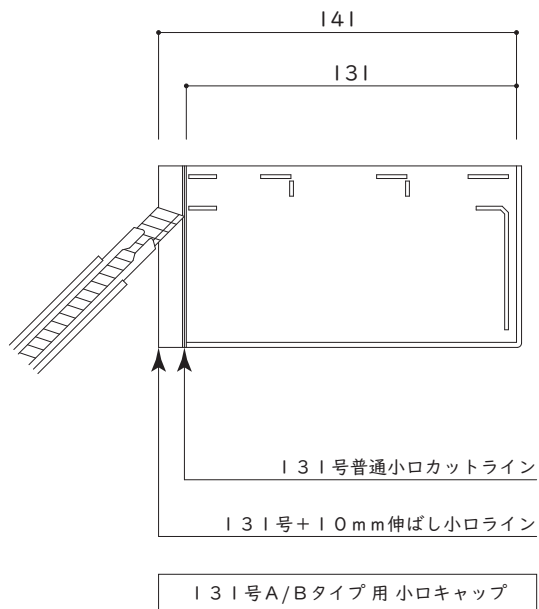


施工手順

4. 小ロキャップの取付け

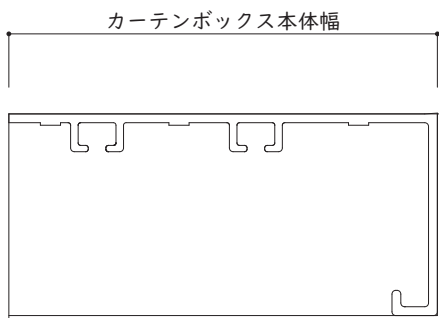
●小ロキャップの切断

取付ける形状と納まりを確認の上、カッターで切断してください。
 下図は右小ロ用のキャップですが、左小ロ用も同様です。



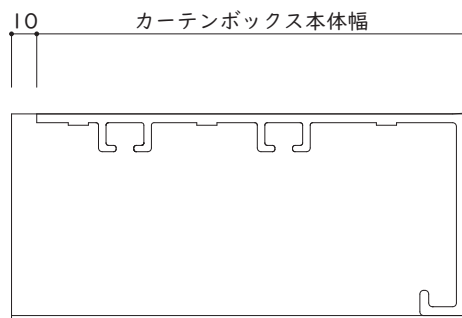
Q. 普通小ロとは？

→A. カーテンボックスと同じ幅で仕上げる小ロ



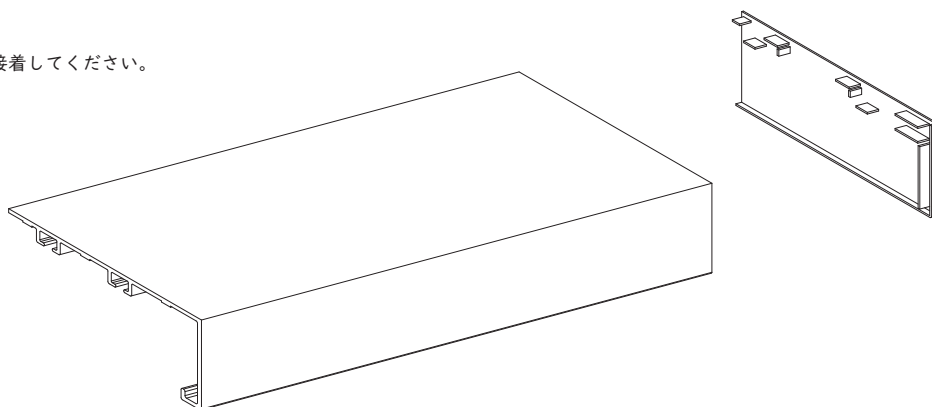
Q.+10mm伸ばしとは？

→A. カーテンボックスの幅より10mm長く仕上げる小ロ
 (サッシ額縁との取り合い上、壁と小ロにスキ間が空かないようにする)



●小ロキャップの接着

瞬間接着剤などで小ロキャップ本体に接着してください。

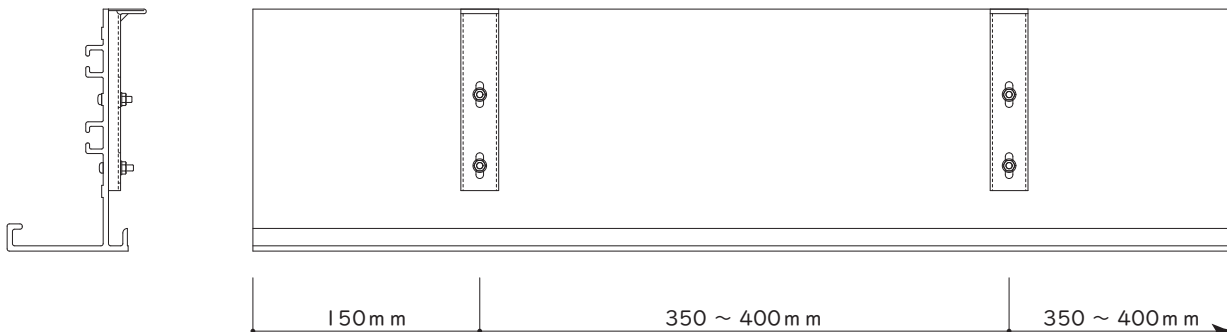


施工手順

5. 壁付タイプ（131号Aタイプ, 135号Aタイプ, 160号共通）の下地への取付け

●ブラケット固定ピッチ

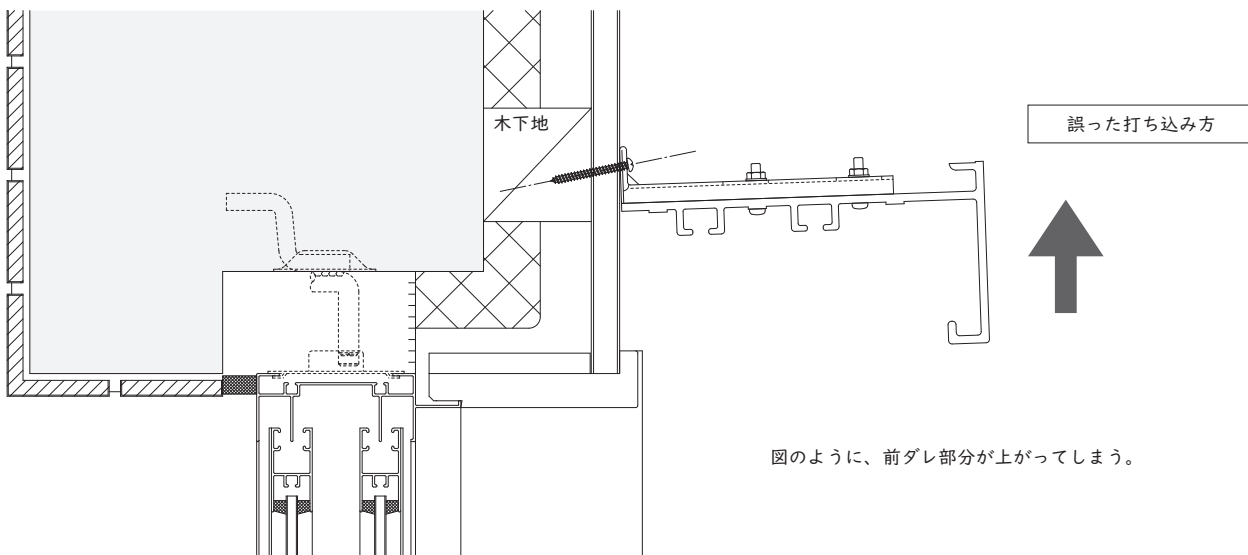
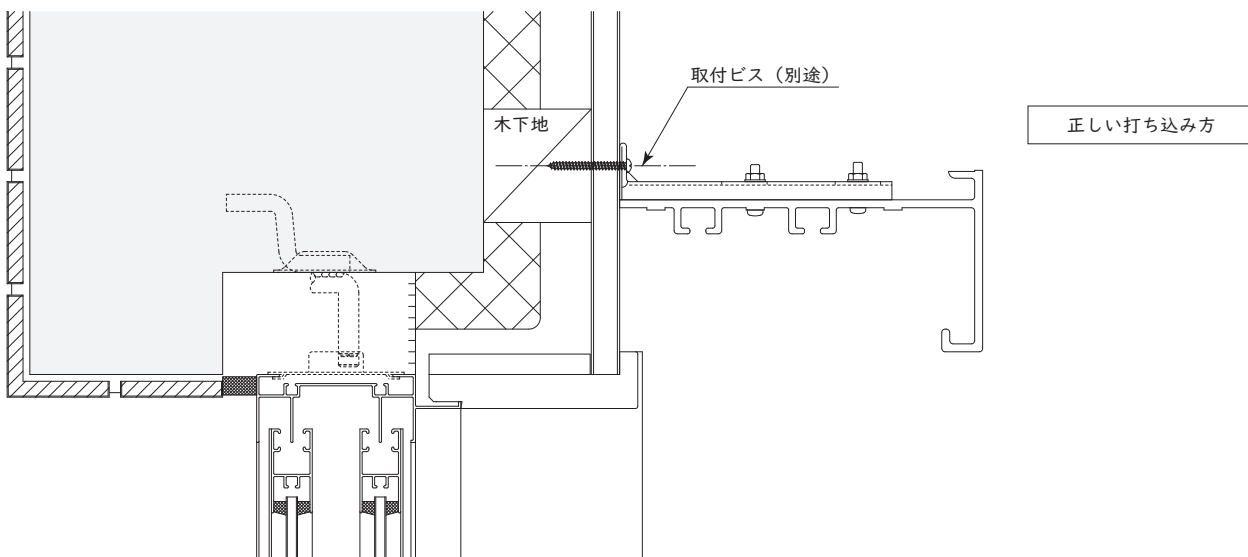
ご指示がない場合は、下図のように端部から150mm、中間部は350～400mmピッチで固定して出荷します。



●壁下地への取付け

壁に対して、真っ直ぐに取付ビス（別途）を打ち込み、下地に固定してください。

取付ビスを斜めから打つとブラケットが反り上がり、正しくカーテンボックスが固定されない恐れがあります。

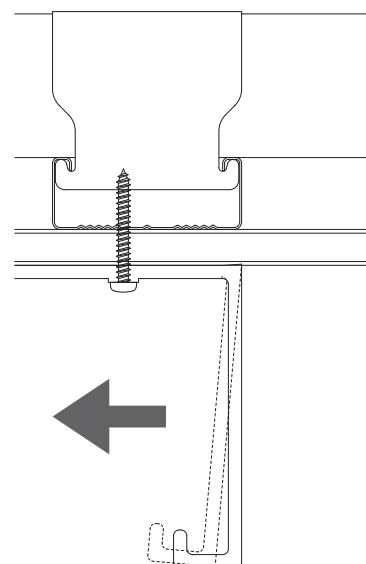
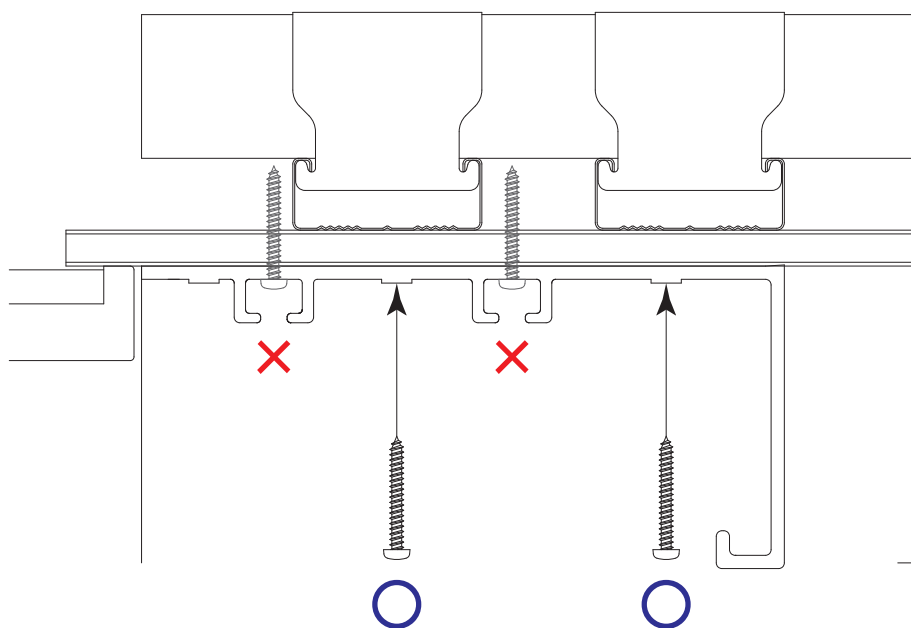
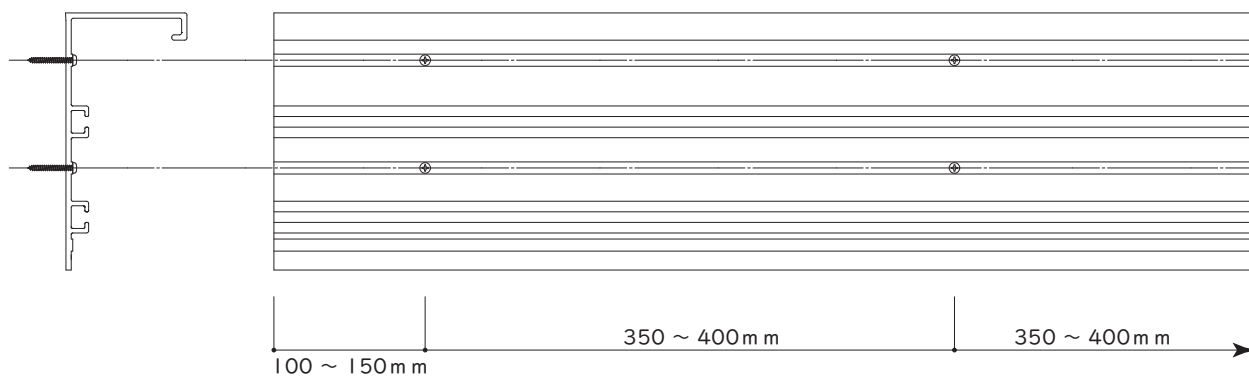


施工手順

6. 梁下・天井付タイプ（131号Bタイプ, 135号Bタイプ, 170号共通）の下地への取付け

●取付ビスピッチ

取付ビス（別途）は、端部から100～150mm、中間部は350～400mmピッチで打ち込んでください。



★施工上の注意点

レールの中にはビス打ちしないでください。ランナーが引っ掛かりスムーズに動かなくなる恐れがあります。また取付ビスを締め過ぎると、前ダレ部が傾く恐れがあります。